

# 2022年度 和歌山県子育て支援員研修 受講者募集要項



和歌山信愛大学／和歌山信愛女子短期大学

(この研修是和歌山県から委託を受け、和歌山信愛女学院が実施します)

## 1. 開講目的

和歌山県内の各地域における保育や子育て支援の担い手を確保するため、保育や子育て支援の仕事に関心を持ち、それらの仕事に従事することを希望する方や従事している方を対象に、「和歌山県子育て支援員研修」を実施する。

## 2. 研修の概要・受講対象者

「子育て支援員」とは、国の要綱に基づく「子育て支援員研修」の受講修了者であって、子育て支援分野に従事する上で必要な知識や技能等を修得したと認められた方のことである。具体的には、以下に掲げる基本研修と専門研修の両方を受講し、それぞれの研修の効果測定に合格・修了した場合に、和歌山県が「子育て支援員研修修了証書」を交付する。修了者は全国共通の「子育て支援員」として認定される（国家資格ではない）。

なお、この研修の受講対象者は、和歌山県内に住所を置く方、あるいは和歌山県内に勤務・通学する方に限る。

また、昨年度以前に基本研修のみ修了した方については、今年度の専門研修のコースを受講することができる。

さらに、昨年度以前に子育て支援員研修を修了した方については、今年度は別の専門研修のコースを受講することができる。

## 3. **基本研修**（概要、日程・場所、参加定員、参加費用、備考）

概要：子ども・子育てに関する制度や、社会状況における子育て支援事業の役割を理解するための科目、支援の意味や役割を理解するための科目、特別な支援を必要とする家庭を理解するための科目及び総合演習（計8時間）を受講し、効果測定に合格すること。

### 日程・場所

A 会場（和歌山）	7月24日（日）・7月31日（日）（2日間） 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛（和歌山市手平2丁目1-2）
B 会場（田 辺）	7月16日（土）・7月17日（日）（2日間） 和歌山県立情報交流センターBig・U（田辺市新庄町3353-9）

参加定員：A会場（和歌山）：160名、B会場（田辺）：100名

参加費用：無料

備考：研修カリキュラム・講師氏名は別表のとおりとする。

※一定の条件を満たし、必要書類を提出することで、基本研修の受講及び効果測定を免除することができる。

- 「保育士」資格あるいは「社会福祉士」資格を所有する方は、登録証の写しを提出すること。  
【未登録資格不可】【保育士資格証明書・保母資格証明書不可】
- 「幼稚園教諭」免許状、「看護師（准看護師を含む）」資格を有し、かつ日々子どもと関わる業務（1年程度）に携わるなど、実務経験により基本研修で学ぶべき知識等が修得されていると都道府県知事等が認める方については、免許状等の写しに加えて、「日々子どもと関わる業務に携わっていることを証明する書類（在職証明書や職務内容証明書など）」を提出すること。
- 2021年度までに和歌山県、または他機関が実施した子育て支援員研修の基本研修を修了した方は、受講申込書（別紙2）に必要事項を記載し、そのときに発行された『『子育て支援員研修（基本研修）修了証明書』の写し』または『『子育て支援員研修修了証書』の写し』を提出すること。

#### 4. **専門研修**（コース別の概要、対象、日程・場所、参加定員、参加費用、備考）

※専門研修の受講に際しては、基本研修の修了（または免除）を要件とするので注意すること。

##### ①②放課後児童コース

- 概要：放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）に関する6科目（計9時間）を受講し、効果測定に合格すること。
- 対象：育児経験や職業経験など多様な経験を有し、地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て事業の職務に従事することを希望する方。または現在において放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の補助員などに従事する方。

##### 日程・場所

① 会場（和歌山）	9月24日（土）・9月25日（日）（2日間） 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛（和歌山市手平2丁目1-2）
② 会場（田 辺）	9月17日（土）・9月18日（日）（2日間） 和歌山県立情報交流センターBig・U（田辺市新庄町3353-9）

- 参加定員：① 会場（和歌山）：100名、② 会場（田辺）：60名
- 参加費用：1,000円 ※資料代等の実費として1,000円を研修初日に徴収する。
- 備考：研修カリキュラム・講師氏名は別表のとおりとする。

このコースは、放課後児童クラブの補助員の経験年数2年未満等を対象とした研修であり、「放課後児童支援員」を養成する「放課後児童支援員認定資格研修」とは異なるので注意すること。

##### ③ 地域保育コース／地域型保育事業

- 概要：地域保育の基礎となる共通11科目（計14時間）、地域型保育事業に関する講義（5科目計6.5時間）、見学実習（計2日間）を受講し、効果測定に合格すること。
- 対象：育児経験や職業経験など多様な経験を有し、地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て事業の職務に従事することを希望する方。または現在において地域型保育（小規模保育事業・家庭的保育事業・事業所内保育事業）や一時預かり保育事業にて、保育士以外の保育従事者などとして従事する方。

なお、共通科目は2021年度までに受講した地域保育コース／一時預かり事業・地域型保育事業・ファミリーサポートセンター事業と共通講義となる。希望すれば『子育て支援員研修修了証書』『子育て支援員研修一部科目修了証書』の写しを提出することで免除することも可能。

##### 日程・場所

講義・見学 日程/場所	講義日程（共通科目） 10月 8日（土）・10月9日（日）（2日間） （地域型保育事業） 10月10日（月・祝） 講義場所 和歌山信愛大学（和歌山市住吉町1番地）
	見学実習 10月～11月中の内2日間 和歌山県内他施設を予定 詳細及び健康診断内容等は、受講決定後、見学実習までに受講予定者に案内予定

- 参加定員：35名
- 参加費用：3,000円 ※資料代等の実費として3,000円を研修初日に徴収する。

- ただし、見学施設までの交通費（各受講者自宅より各自で公共交通機関利用の上現地に行く。）は自己負担とする。
- 見学実習のための健康診断等（検便を含む。市町村によって受診内容・費用が異なる。）は、別途自己負担となる。受診内容によっては、費用が1万円以上になる場合がある。（例：麻疹抗体検査、予防接種等）

※見学実習のための健康診断等の詳細は、受講決定後に通知する。健康診断書の提出がない場合、また検査結果の確認後、不適と思われる方は見学実習の受講はできない。

備考：研修カリキュラム・講師氏名は別表のとおりとする。

- 2021年度までに和歌山県内外が実施した子育て支援員研修において、地域保育コースの一時預かり事業、及び地域型保育事業受講修了者、または共通科目修了者は別表の備考に掲げる「共通科目11科目（14時間）」を免除することができる。  
発行された『子育て支援員研修（基本研修）修了証明書』の写しに加えて『子育て支援員研修修了証書』の写し（一時預かり事業）または『子育て支援員研修一部科目修了証書』の写しを提出すること。
- 見学実習当日に気象警報が発令した場合や、その他の自然災害や緊急事態宣言等により当日の見学実習の実施が困難な場合は、見学実習実施日を変更することがある。

#### ④ 地域子育て支援コース／地域子育て支援拠点事業

概要：地域子育て支援拠点事業に関する6科目（計6時間）を受講し、効果測定に合格すること。

対象：育児経験や職業経験など多様な経験を有し、地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て事業の職務に従事することを希望する方。または現在において地域子育て支援拠点事業の専任職員など、主に地域子育て支援拠点事業の業務に携わる自治体職員、あるいは地域子育て支援拠点事業の実施主体である社会福祉法人・特定非営利活動法人・民間企業等の職員。

日程・場所

日程・場所	8月11日（木・㊟） 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛（和歌山市手平2丁目1-2）
-------	---

参加定員：80名

参加費用：1,000円 ※資料代等の実費として1,000円を研修初日に徴収する。

備考：研修カリキュラム・講師氏名は別表のとおりとする。

#### ⑤ 地域子育て支援コース／利用者支援事業（基本型）

概要：事前学習（「地域資源の理解」に関する課題を提示する）を経て、利用者支援事業（基本型）に関する講義・演習、見学実習（計24時間）を受講し、効果測定に合格すること。

受講条件：自治体あるいは法人等の職員（地域子育て支援拠点事業等）で、相談及びコーディネート等、一定の実務経験（1年以上）を有していること。  
（業務に携わっていることを証明するもの『職務内容証明書』の提出が必須）

日程・場所

講義・見学 日程/場所	8月26日（金） 和歌山市地域フロンティアセンター（和歌山市本町2丁目1） 9月2日（金）・9月22日（木） 和歌山信愛大学（和歌山市住吉町1番地）（全3日間）
	見学実習 9/3～9/21中の内1日 和歌山県内地域資源を予定 詳細は、研修初日に案内予定

参加定員：15名

参加費用：1,000円 ※資料代等の実費として1,000円を研修初日に徴収する。

備考：研修カリキュラム・講師氏名は別表のとおりとする。

- 後日事前学習「地域資源の理解」に関する課題を提示するので、研修初日に持参すること。
- 受講条件に満たない方は受講できないことがある。
- 地域資源の見学日程・場所については研修初日に連絡する。
- 見学先等の業務の都合上、研修日程を変更することがある。
- 申込人数の状況によって、または自然災害や緊急事態宣言等により変更や中止の可能性もある。

## 5. 申込方法 (送付前のチェックシート必ず参照)

受講希望者は、次の書類を 受付開始日2022年6月10日(金)～受付終了日2022年6月22日(水) **\* 必着厳守**

「和歌山信愛大学 きょう育の和センター 子育て支援員研修担当者宛」まで郵送。

**特定記録郵便やレターパック(ライト青で可能)等、送付した記録がわかる郵便で提出すること。郵送以外の申込みは受け付けない。(※6月10日より前の申込、及び6月22日より後の申込は受理しない。)**

- A 受講申込書(別紙1基 or 別紙2免)(保育・子育て支援事業従事者は勤務先を必ず記載すること。)
- B 返信用封筒2通(角型2号(240×332<sup>mm</sup>)の封筒に、自宅の郵便番号・住所・氏名を明記(戸籍に記載されている通りの表記)し、**140円**切手を貼付。**必ず2通分用意すること。**)※受講決定書・修了証書等送付時使用
- C 基本研修の免除を希望する場合は、以下のいずれかの書類を提出すること。
  - ・「保育士証」「社会福祉士登録証」の写し(保育士資格証明書・保育資格証明書不可)
  - ・在職証明書と職務内容証明書(様式任意)に加えて「幼稚園教諭免許状」(免許状の種別は問わない)あるいは「看護師免許状」「准看護師免許状」いずれかの写し
  - ・2021年度までに和歌山県または他機関の支援員研修を受講した方は、「子育て支援員研修(基本研修)修了証明書」の写しまたは、「子育て支援員研修修了証書」の写し
- D 地域保育コースの一部科目の免除を希望する場合は、以下の書類を提出すること。
  - ・「子育て支援員研修(基本研修)修了証明書」の写しに加えて「子育て支援員研修修了証書(一時預かり事業)」の写しまたは「子育て支援員研修一部科目修了証書」の写し

## 6. 研修修了の認定方法

各コースに定める全てのプログラムに出席し(遅刻・早退・欠席は認めない)、終了時に実施する効果測定に合格すること。合格した方に対しては、後日受講修了証書を郵送する。(全コース修了後、2023年3月末日迄に発送予定。仮認定書の発行はしない。)

## 7. その他

- ・この研修は、和歌山県の委託を受けて和歌山信愛女学院が実施する。
- ・**書類不備の場合はそのまま返送する。期限までに必要な書類の提出がない場合は受付できない場合がある。**
- ・受講申し込みが定員を超過する場合は抽選とする。それにより受講できない場合は郵送にて通知。
- ・審査による受講者決定後、受講決定通知書と受講の詳細などの案内を郵送にて通知。**※いずれも返信用封筒使用**
- ・気象警報発令時も原則として開講する。

【連絡先】 お問い合わせ時間：月～金曜日10:00～17:00

和歌山信愛大学 きょう育の和センター 子育て支援員研修事務局 担当 阪田宛

〒640-8022 和歌山県和歌山市住吉町1番地

TEL:070-3268-9696 / MAIL:w.shinai.kosodateshieninkensyu@softbank.ne.jp

HP: <https://www.wsu.ac.jp/kosodatesienin/> (要項等のダウンロードが可能) 2022.6.10公開予定

## 送付前のチェックシート(提出する前に、各自でご確認ください。)

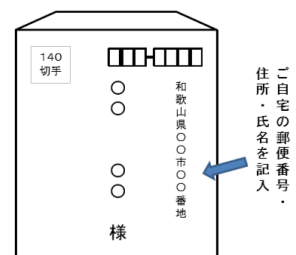
- ☐ 受講申込書(別紙1基 or 別紙2免)はご本人で作成しましたか。(戸籍に記載されている通りの表記)
- ☐ 受講申込書(別紙1基 or 別紙2免)に必要な事項をすべて書き込みましたか。
- ☐ 角型2号の返信用封筒を2通用意しましたか。

(角型2号(240×332<sup>mm</sup>)の封筒とは、この募集要項を折らずに入れることができる大きさの封筒です。)

- ☐ 角型2号の返信用封筒には、あなたの自宅の郵便番号・住所・氏名を記入しましたか。
- ☐ 角型2号の返信用封筒には140円の切手をそれぞれ貼付しましたか。

(基本研修の免除を希望する場合) 受講申込書(別紙2免)に記入

- ☐ 必要書類をそれぞれ添付しましたか。
- ☐ 第三号の免除を希望する方は、受講申込書に「子育て支援員研修(基本研修)修了証明書」または「子育て支援員研修修了証書」の右上に記載されている番号を記載しましたか。



## 【別表】 研 修 カ リ キ ュ ラ ム

### 新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う開催について

参加される受講者が安心・安全に受講していただけるための方策として、和歌山県における新型コロナウイルス感染症拡大を防止するための取り組みに準ずるとともに、さらなる取り組みとして受付時に検温、マスクの着用等のご協力をお願いします。

受講決定通知書の郵送時に、「感染拡大防止についてのご協力をお願い」の書面を同封します。なお、受講者の健康状況等によっては会場への入場、受講をお断りする場合がありますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、日程変更や中止、または例年より定員を縮小して開催する場合があります。

### 【基 本 研 修】

#### A 和歌山市

会場：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

全2日間 160名

日付	時 間	科 目 名	時間数	講師氏名	講 師 職 名	備考
7月24日 日曜日	13:00-14:00	子ども家庭福祉	60分	桑原 徹也	和歌山信愛女子短期大学講師	
	14:10-15:10	対人援助の価値と倫理	60分	江口 怜	和歌山信愛大学助教	
	15:20-16:20	児童虐待と社会的養護	60分	桑原 義登	和歌山信愛大学教授	
	16:30-17:30	子どもの障害	60分	桑原 徹也	和歌山信愛女子短期大学講師	
7月31日 日曜日	13:00-14:00	子ども・子育て家庭の現状	60分	森下 順子	和歌山信愛大学准教授	
	14:10-15:10	子どもの発達	60分	森下 順子	和歌山信愛大学准教授	
	15:20-16:20	保育の原理	60分	森下 順子	和歌山信愛大学准教授	
	16:30-17:30	総合演習	60分	森下 順子 阪田由美子	和歌山信愛大学准教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	
	17:30-18:00	効果測定	30分	森下 順子 阪田由美子	和歌山信愛大学准教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	

#### B 田辺市

会場：和歌山県立情報交流センターBig・U

全2日間 100名

日付	時 間	科 目 名	時間数	講師氏名	講 師 職 名	備考
7月16日 土曜日	13:00-14:00	子ども家庭福祉	60分	桑原 徹也	和歌山信愛女子短期大学講師	
	14:10-15:10	対人援助の価値と倫理	60分	桑原 徹也	和歌山信愛女子短期大学講師	
	15:20-16:20	児童虐待と社会的養護	60分	桑原 義登	和歌山信愛大学教授	
	16:30-17:30	子どもの障害	60分	桑原 徹也	和歌山信愛女子短期大学講師	
7月17日 日曜日	10:00-11:00	子ども・子育て家庭の現状	60分	森下 順子	和歌山信愛大学准教授	
	11:10-12:10	子どもの発達	60分	森下 順子	和歌山信愛大学准教授	
	13:00-14:00	保育の原理	60分	森下 順子	和歌山信愛大学准教授	
	14:10-15:10	総合演習	60分	森下 順子 阪田由美子	和歌山信愛大学准教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	
	15:10-15:40	効果測定	30分	森下 順子 阪田由美子	和歌山信愛大学准教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	

# 【専 門 研 修】

## ① 放課後児童コース 和歌山市

会場：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

全2日間 100名

日付	時 間	科 目 名	時間数	講師氏名	講 師 職 名	備考
9月24日 土曜日	13:00-14:30	放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容	90分	担当者	和歌山県福祉保健部福祉保健政策局 子ども未来課	
	14:40-16:10	放課後児童クラブに従事する者の仕事内容と職場倫理	90分	大塚 謙治	一般社団法人日本学童保育士協会	
	16:20-17:50	子どもの生活と遊びの理解と支援	90分	大塚 謙治	一般社団法人日本学童保育士協会	
9月25日 日曜日	10:00-11:30	子どもの発達理解と児童期（6歳～12歳）の生活と発達	90分	山本 紀代	和歌山信愛大学講師	
	11:40-13:10	放課後児童クラブにおける権利擁護とその機能・役割等	90分	辻 伸幸	和歌山信愛大学准教授	
	14:00-15:30	子どもの生活面における対応等	90分	武内 龍伸 阪田由美子	東京医療保健大学准教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	
	15:30-16:00	効果測定	30分	桑原 徹也 阪田由美子	和歌山信愛大学教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	

## ② 放課後児童コース 田辺市

会場：和歌山県立情報交流センターBig・U

全2日間 60名

日付	時 間	科 目 名	時間数	講師氏名	講 師 職 名	備考
9月17日 土曜日	13:00-14:30	放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容	90分	担当者	和歌山県福祉保健部福祉保健政策局 子ども未来課	
	14:40-16:10	放課後児童クラブに従事する者の仕事内容と職場倫理	90分	大塚 謙治	一般社団法人日本学童保育士協会	
	16:20-17:50	子どもの生活と遊びの理解と支援	90分	大塚 謙治	一般社団法人日本学童保育士協会	
9月18日 日曜日	10:00-11:30	子どもの発達理解と児童期（6歳～12歳）の生活と発達	90分	山本 紀代	和歌山信愛大学講師	
	11:40-13:10	放課後児童クラブにおける権利擁護とその機能・役割等	90分	辻 伸幸	和歌山信愛大学准教授	
	14:00-15:30	子どもの生活面における対応等	90分	武内 龍伸 阪田由美子	東京医療保健大学准教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	
	15:30-16:00	効果測定	30分	桑原 徹也 阪田由美子	和歌山信愛大学教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	

## ③ 地域保育コース 地域型保育事業

会場：和歌山信愛大学

全5日間 35名

日付	時 間	科 目 名	時間数	講師氏名	講 師 職 名	備考
10月8日 土曜日 共通科目/ 1日目	10:00-10:30	グループ討議	30分	阪田由美子	和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	共通科目
	10:30-11:30	乳幼児の生活と遊び	60分	戸洞 幸夫	和歌山信愛大学教授	
	11:40-13:10	乳幼児の発達と心理	90分	森下 順子	和歌山信愛大学准教授	
	14:00-15:00	小児保健Ⅰ	60分	武内 龍伸	東京医療保健大学准教授	
	15:10-16:10	小児保健Ⅱ	60分	武内 龍伸	東京医療保健大学准教授	
	16:20-18:20	心肺蘇生法	120分	武内 龍伸	東京医療保健大学准教授	
10月9日 日曜日 共通科目/ 2日目	10:00-11:00	地域保育の環境整備	60分	森下 順子	和歌山信愛大学准教授	共通科目
	11:10-12:10	安全の確保とリスクマネジメント	60分	森下 順子	和歌山信愛大学准教授	
	13:00-14:20	乳幼児の食事と栄養	80分	藤澤 祥子	元和歌山信愛女子短期大学非常勤講師	
	14:30-16:00	保育者の職業倫理と配慮事項	90分	*	社会福祉法人アトム共同福祉会	
	16:10-17:40	特別に配慮を要する子どもへの対応（0～2歳児）	90分	*	社会福祉法人アトム共同福祉会	
	17:50-18:30	グループ討議	40分	森下 順子 阪田由美子	和歌山信愛大学准教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	
10月10日 月曜日 <sup>㊤</sup>	10:00-11:00	地域型保育の概要	60分	*	地域型保育関係者	地域型 保育
	11:10-13:10	地域型保育の内容	120分	*	地域型保育関係者	
	14:00-15:00	地域型保育の運営	60分	*	社会福祉法人アトム共同福祉会	
	15:10-16:40	地域型保育における保護者への対応	90分	*	社会福祉法人アトム共同福祉会	
	16:50-17:50	地域型保育見学実習オリエンテーション	60分	戸洞 幸夫 阪田由美子	和歌山信愛大学准教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	
10月～11月中の内 2日間 を予定	巡回は阪田	地域型保育事業見学実習	和歌山県 内他施設	森下 順子 阪田由美子	和歌山信愛大学准教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	地域型 保育
	巡回は阪田	地域型保育事業見学実習		森下 順子 阪田由美子	和歌山信愛大学准教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	

④ 地域子育て支援コース 地域子育て支援拠点事業

会場：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

全1日間 80名

日付	時 間	科 目 名	時間数	講師氏名	講 師 職 名	備 考
8月11日 木曜日(祝)	10:00-11:00	地域子育て支援拠点事業の全体像の理解	60分	担当者	和歌山県福祉保健部福祉保健政策局 子ども未来課	
	11:10-12:10	地域子育て支援拠点の活動	60分	* 阪田由美子	和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	ゲストスピーカー有
	13:00-14:00	利用者の理解	60分	森下 順子	和歌山信愛大学准教授	
	14:10-15:10	事例の検討	60分	森下 順子	和歌山信愛大学准教授	
	15:20-16:20	講習等の企画づくり	60分	村田 和子	和歌山大学教授	
	16:30-17:30	地域資源の連携づくりと促進	60分	村田 和子	和歌山大学教授	
	17:30-18:00	効果測定	30分	森下 順子 阪田由美子	和歌山信愛大学准教授 和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	

⑤ 地域子育て支援コース 利用者支援事業（基本型）

会場：和歌山市地域フロンティアセンター(8/26)

和歌山信愛大学(9/2・9/22)

全4日間 15名

日付	時 間	科 目 名	時間数	講師氏名	講 師 職 名	備 考
8月26日 金曜日	10:00-11:00	利用者支援事業の概要	60分	※山田 和子 前馬 理恵	四天王寺大学看護学部教授 和歌山県立医科大学保健看護学部教授	
	11:10-12:10	地域資源の概要	60分	山田 和子 ※前馬 理恵	四天王寺大学看護学部教授 和歌山県立医科大学保健看護学部教授	
	13:10-15:40	地域資源の把握（事前学習）	150分	山田 和子 ※前馬 理恵	四天王寺大学看護学部教授 和歌山県立医科大学保健看護学部教授	400分のうちの か'付'ス
9月2日 金曜日	10:00-11:30	利用者支援専門員に求められる基本的姿勢と倫理	90分	※山田 和子 前馬 理恵	四天王寺大学看護学部教授 和歌山県立医科大学保健看護学部教授	
	11:40-12:40	記録の取扱い	60分	※山田 和子 前馬 理恵	四天王寺大学看護学部教授 和歌山県立医科大学保健看護学部教授	
	13:40-15:40	事例分析Ⅰ～ジェノグラムとエコマップを活用した アセスメント	120分	山田 和子 ※前馬 理恵	四天王寺大学看護学部教授 和歌山県立医科大学保健看護学部教授	
9/3～9/21中の内 1日を予定	480分相当	地域資源の見学 （詳細については後日郵送）	480分	山田 和子 前馬 理恵	四天王寺大学看護学部教授 和歌山県立医科大学保健看護学部教授	
9月22日 木曜日	10:00-11:30	事例分析Ⅱ～社会資源の活用とコーディネーション	90分	山田 和子 ※前馬 理恵	四天王寺大学看護学部教授 和歌山県立医科大学保健看護学部教授	
	13:00-14:30	話し合い 見学を踏まえた発表準備	90分	山田 和子 前馬 理恵	四天王寺大学看護学部教授 和歌山県立医科大学保健看護学部教授	
	14:40-15:40	まとめ	60分	山田 和子 前馬 理恵	四天王寺大学看護学部教授 和歌山県立医科大学保健看護学部教授	
	15:40-16:40	効果測定	60分	阪田由美子	和歌山信愛大学子育て支援員研修担当	



## 和歌山信愛大学・和歌山信愛女子短期大学

<お問い合わせ>

和歌山信愛大学 きょう育の和センター 子育て支援員研修事務局  
〒640-8022 和歌山県和歌山市住吉町1番地

TEL:070-3268-9696 (月～金曜日10:00～17:00)

MAIL:w.shinai.kosodateshieninkensyu@softbank.ne.jp

HP: <https://www.wsu.ac.jp/kosodatesienin/>